



会場アクセス

○ 水戸駅北口から水戸市民会館

徒歩：水戸市泉町1丁目7-1を目指してください。徒歩20分。途中の目印は 水戸駅北口⇒銀杏坂⇒水戸郵便局⇒常陽銀行本店⇒ドーミーイン水戸⇒みずほ銀行水戸支店⇒水戸市民会館

バス：水戸駅北口バス乗り場（4～7番）から、行先表示に「大工町」と記載のあるバスに乗車、「泉町1丁目」下車（「大工町」を通るバスは全て「泉町1丁目」に停車します。）。支払方法にご注意ください。
・茨城交通（水戸駅北口4.5.7番乗り場）：現金、クレカタッチ決済、QRコード決済【交通系ICカード不可】
・関東鉄道（水戸駅北口6番乗り場）：現金、交通系ICカード決済【クレカタッチ決済、QRコード決済不可】

タクシー：1000円未満

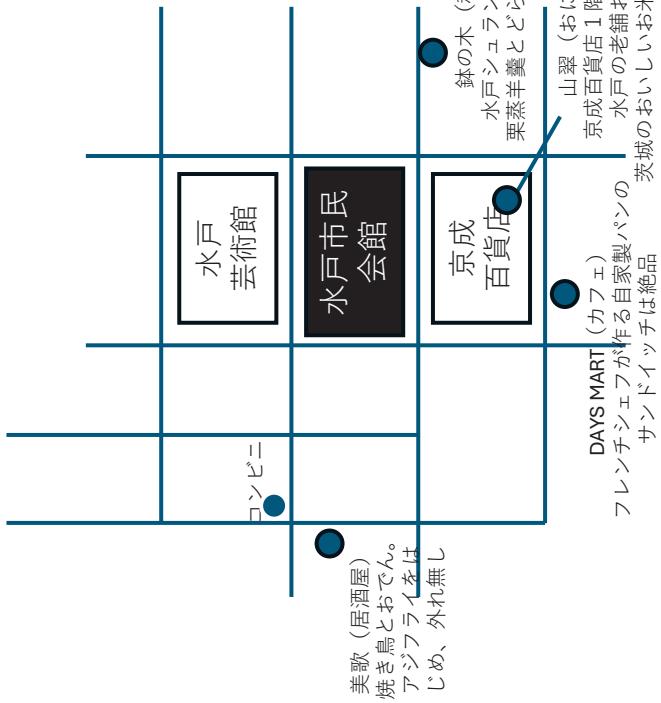
自家用車：会場の駐車場は使えません。近隣の時間貸駐車場をご利用ください。

○ 東京からのアクセス

電車：品川駅・東京駅・上野駅から常磐線特急「ひたち」「ときわ」利用。所要 約1～2時間。

高速バス：東京駅八重洲口から高速バス「みど号」の「赤塚経由」で約2時間。「泉町1丁目」停留所が会場の目の前。「みど号（県庁経由）」は「泉町1丁目」に行かないでご注意。





おまけ 大会長のおすすめグッズ

マップ

他にもおすすめがたくさんありますよ。

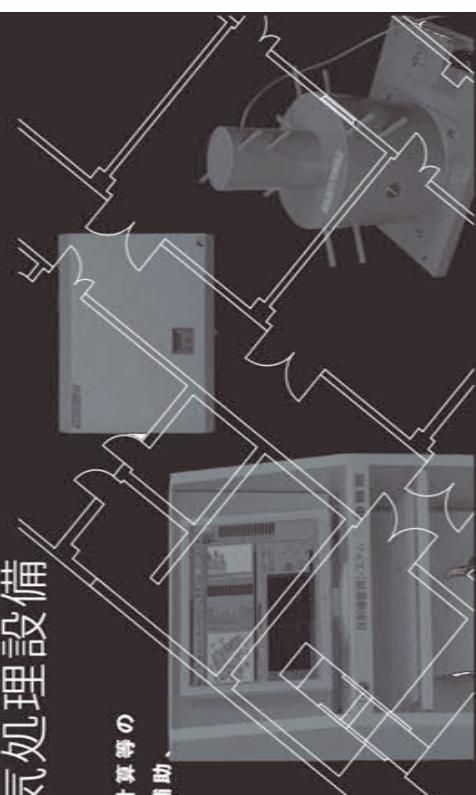
富士電機 放射線管理パートナー

F 富士電機
Innovating Energy Technology

富士電機は、放射線計測業界で長年培った豊富な知識と経験を活かし、お客様にとって最適な放射線管理システム・サービスをご提供します。

放射線モニタリングシステム R|排水／排気処理設備

設計・施工・保守・遙へい計算等の
各種申請、届出書類作成補助、
施設の廃止手続き等



サーベイメータ／線量計

サーベイメータ各種
(α 線、 β 線、 γ 線、低エネルギーX線、中性子)
電子線量計各種 (β 線、 γ 線、中性子)
RIキャリブレータ等の
その他測定装置



日本保健物理学会第58回研究発表会開催概要

日程 2025年12月18日（木）～12月20日（土）
場所 水戸市民会館（茨城県水戸市）

12月18日（木）
12:00～受付開始
A会場 13:10～開会式
13:30～招待講演
15:00～企画セッション（線量臨時委員会）
16:30～特別企画セッション「公開」（原子力規制庁・日本保健物理学会）

B会場 15:00～口頭発表セッション（放射線計測1）
16:30～口頭発表セッション（放射線計測2）
C会場 15:00～口頭発表セッション（現場の放射線管理1）
16:30～口頭発表セッション（現場の放射線管理2）

12月19日（金）
A会場 10:00～企画セッション（放射線防護標準化委員会）
11:00～CKJ Plenary Session
13:00～CKJ Session
B会場 09:00～口頭発表セッション（放射線教育1）
10:30～口頭発表セッション（放射線教育2）
13:00～口頭発表セッション（放射線計測3）
14:30～口頭発表セッション（放射線計測4）
C会場 09:00～口頭発表セッション（環境放射能1）
10:30～口頭発表セッション（環境放射能2）
13:00～口頭発表セッション（現場の放射線管理3）
14:30～口頭発表セッション（防災・緊急時対応）
展示室 16:00～ポスターセッション
18:00～懇親会

12月20日（土）
A会場 09:00～口頭発表セッション（1F事故関連1）
10:30～口頭発表セッション（1F事故関連2）
12:00～閉会式
B会場 09:00～口頭発表セッション（線量評価1）
10:30～口頭発表セッション（線量評価2）
C会場 09:00～口頭発表セッション（放射線影響）
10:30～口頭発表セッション（防護理論）
オプショナルツアー
12:45～[参加申込み者のみ]

プログラムはこちらから
<https://pub.confit.attlas.jp/ja/event/jhps2025/sessions>



〒191-8502 東京都品川区大崎1-11-2 ゲートシティ大崎イーストタワー
www.fujielectric.co.jp

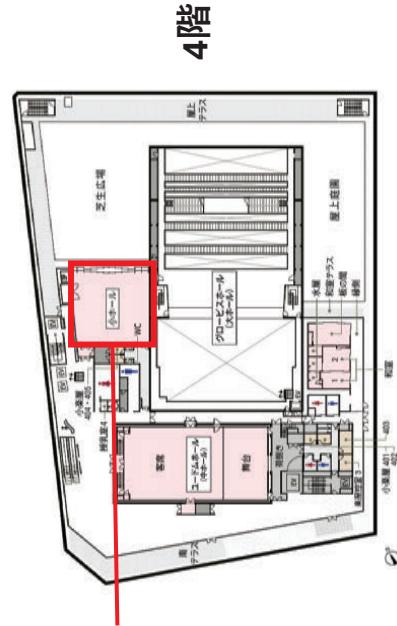
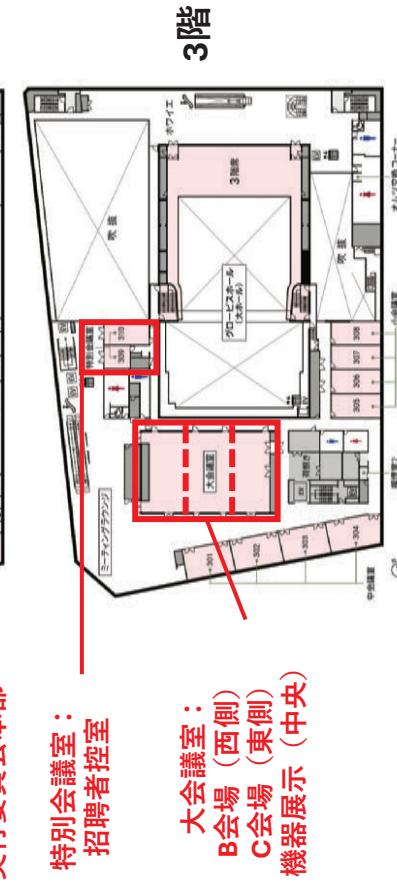
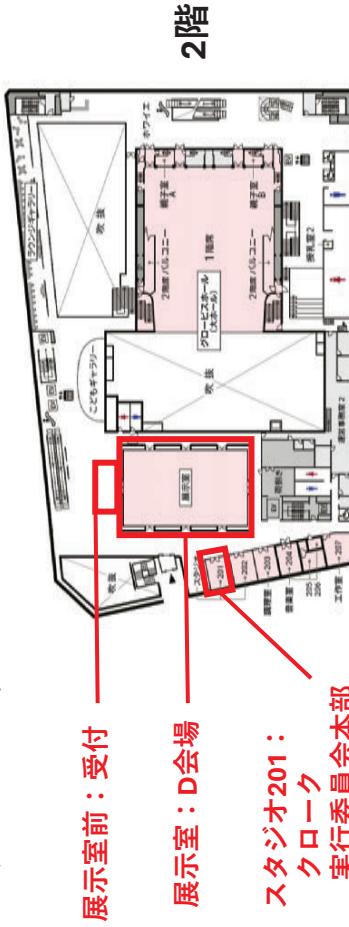
富士電機株式会社

ルミネード[®]シリーズ

新しい形を提案し続ける、次世代型シンチレーター



会場のご案内



大会受付：2階（展示室前）
開会式、招待講演、企画セッション、閉会式：A会場（4階小ホール）
口頭発表会場：A会場（4階小ホール）、B会場（3階大会議室）
C会場（3階大会議室）
ポスター発表会場：D会場（2階展示室）
機器展示会場：3階大会議室
懇親会：D会場（2階展示室）

放射線（ β 線等）測定用 | シートタイプ / ペレットタイプ

$\times(\gamma)$ 線対応 鉛フリー金属充填 | X

放射線（ β 線等）測定用 | 3DPフィラメント

「伝える」「彩る」「守る」ことで、豊かな未来を実現する

TOHOink

東京インキ株式会社

- オフセットインキ
- グラビアインキ
- インクジェットインク
- 印刷関連資材
- プラスチック用着色剤
- プラスチック用機能材
- 土木・環境資材
- 包装・産業資材

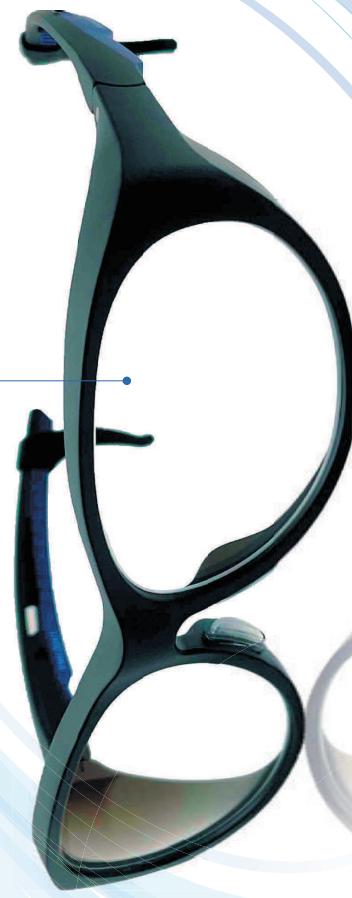
参加者各位へお知らせ

Vtect

新発売

鉛フリーレンズ使用

安心素材の鉛フリーレンズを採用
側面まで覆う形状で、側方からの散乱線を効果的に遮蔽
オーバーグラスタイプで、メガネの上から装着可能
付属品により快適な装着をサポート



- ▶ 参加登録について
 - 事前登録がお済の方は、あらかじめ参加証を印刷してご持参ください。
 - 未登録の方は、受付で参加登録をお願いします。
 - 懇親会の参加についても、事前登録をお願いします。
 - 受付では現金は取り扱いません。クレジットカードのご準備をお願いします。

大会参加登録費（当日登録）		懇親会費
正会員	9,000円	
学生会員	3,000円	
非会員	11,000円	
学生	3,000円	

<https://pub.confit.atlas.jp/ja/event/jhps2025/content/event>



- ▶ 会場の使用について
 - 会場内ではネームホルダーをご着用ください。
 - 昼食は各口頭発表会場（A、B、C会場）をご利用ください。
 - ごみは各自でのお持ち帰りにご協力ください。

- ▶ Wi-Fi環境
 - SSID：jhpsMito
 - パスワード：hobutsu58



付属品



TEL:029-839-3322 FAX:029-836-8441
mail@nagase-landauer.co.jp
<https://www.nagase-landauer.co.jp/>

お問い合わせ | 長瀬ランダウア株式会社 営業部



参加者各位へお知らせ

12月20日（土）

B会場 【口頭発表】

1030-1200 線量評価2

- 【3205-08-01】 粒径分解型 α ダストモニタ開発：初期データによる概念検証 *黒江 聰萌¹、坪田 陽一¹、Laffolley Hugo¹、狩野 豊宏¹ (1. 日本原子力研究開発機構)
- 【3205-08-02】 電荷・LET/バラメータ線質係数の宇宙放射線EJ計測への適応手法 *内藤 雅之¹、小平 聰¹ (1. 量子科学技術研究開発機構)
- 【3205-08-03】 ICRP RBEタスクグループの活動状況と組織反応に対する加重係数提案に向けた個人的取り組み *佐藤 達彦¹ (1. 日本原子力研究開発機構)
- 【3205-08-04】 ICRU Report 95の導入に向けたIAEAの取り組み：放射線防護の信頼性と整合性の確保を目指して *小口 靖弘¹、Bokulić Tomislav²、Cruz-Suárez Rodolfo³、Hajek Michael³、Saito Monteiro de Barros Vinícius⁴、Hupe Oliver⁵、Merza Victor⁶、Milcewicz-Mika Izabela⁷、de Souza Santos Denison⁸、Vanhavere Filip⁹、Yukihara Eduardo¹⁰ (1. 株式会社千代田テクノル、2. University of Zagreb、3. International Atomic Energy Agency、4. Federal University of Pernambuco、5. Physikalisch-Technische Bundesanstalt、6. University of Lisbon、7. Institute of Nuclear Physics, Polish Academy of Sciences、8. Institute of Radiation Protection and Dosimetry、9. SCK CEN Belgian Nuclear Research Centre, Belgium、10. Paul Scherrer Institute)

C会場 【口頭発表】

- 0900-1030 放射線影響
【3301-04-01】 デジタルPCRを用いた新規DNA損傷評価手法に関する研究 *松尾 陽一郎¹、清水 喜久雄²、泉 佳伸² (1. 福井大学大学院工学研究科、2. 福井大学 附属国際原子力工学研究所)
- 【3301-04-02】 DNA損傷の修復効果を考慮した放射線生物学数理モデルの提案 *泉 佳伸¹、中島 和也² (1. 福井大学 附属国際原子力工学研究所、2. 福井大学 工学研究科)
- 【3301-04-03】 放射線治療におけるkv-CBCTの線源モデル構築手法の検討 *松尾 陽一郎¹、張 維剛¹、古場 栄介²、Puspen Chakraborty¹、鈴木 天葉¹、山口 祐佳里¹ (1. 東京都立大学院 人間健康科学研究科 放射線科学専攻、2. 量子科学技術研究開発機構 放射線医学研究所 放射線規制科学研究部 リスク評価グループ)
- 【3301-04-04】 福島県小児甲状腺がん検査の疫学的分析 *永井 宏幸¹ (1. NPO市民科学研究室)

- 1030-1140 防護理論
【3305-07-01】 自然起原放射性物質による被ばくの特徴を反映した放射線防護上の解析と防護規準の検討 *小池 弘美¹、飯本 武志¹ (1. 東京大学)
【3305-07-02】 放射線防護理論の定量的基盤 *能澤 番¹、豊田 亘博²、加藤 和明³、山口 一郎⁴ (1. 元日本原子力研究所 (原子力機構前身)、2. 豊田放射線研究所、3. 洗練課題研究所、4. 国立保健医療科学院)
【3305-07-03】 米国Executive Order 14300 Section 5(b)を巡る動向とその影響の分析 *高原 省五¹、更田 豊志² (1. 日本原子力研究開発機構、2. 東京大学)

- ▶ 口頭発表について
 - 一般講演口頭発表の発表時間は12分です。7分の質疑応答の時間を作ります。
 - 口頭発表用の投影資料は、受付にご提出ください。
 - USBメモリでの提供をお願いします。
 - セッション開始10分前に会場前に会場前方にお集まりください。
- ▶ ポスター発表について
 - ポスターは18日16時までに、講演番号で指定した場所に掲示してください。
 - 20日13時までに撤去願います。
- ▶ 禁止事項
 - 本研究発表会のすべての講演、発表には、その作者と発表者に著作権があります。
 - これらの著作物の録画、撮影等の行為は一切禁止とさせています。
 - またこれらの著作物を本会以外のホームページ、SNS等に掲載することも、固くお断りいたします。

A会場 【口頭発表】

0900-1030 1F事故関連 1

[3101-04-01] 原子力事故・放射線緊急事態後の緊急時と現存被ばく状況における作業者の線量制限体系その1 -Individual dose-restriction levelの提案 *服部 隆利¹ (1. 原子力損害賠償・廃炉等支援機構)[3101-04-02] 原子力事故・放射線緊急事態後の緊急時と現存被ばく状況における作業者の線量制限体系その2 -Individual dose-restriction levelの変更により増加し得る生涯リスクの定量評価- *菊池 遼¹、服部 隆利¹ (1. 原子力損害賠償・廃炉等支援機構)[3101-04-03] 日本国と東京電力による福島第一原発事故、緊急時における被ばくと被害を検証するために *瀬川 嘉之¹ (1. 高木学校)[3101-04-04] 福島第一原子力発電所における放射線防護の取り組み *高村 恵士¹、黒萩 真之¹、鈴木 優太¹、野村 国芳¹、金賓 秀昭¹ (1. 東京電力HD)

1030-1150 1F事故関連 2

[3105-08-01] 福島第一原子力発電所における創傷汚染発生時の初期対応及び肺モニタに用いられる高純度Geγ線検出器の傷モニタへの適用検討 *中根 謙矢¹、大野 雅子¹、田瀬 孝輔¹、鈴木 優太¹、野村 国芳¹、金賓 秀昭¹ (1. 東京電力ホールディングス株式会社)[3105-08-02] 飛沫状情報の機械学習をもとにした高線量環境用の軽量 α β 線ダストモニタの開発と現場実証 *坪田 陽一¹、ラフォレ ヨーゴ¹、辻 智也¹、本田 文弥¹、中村 勝樹¹、鈴木 政浩¹ (1. 日本原子力研究開発機構)[3105-08-03] 小児甲状腺スクリーニングにおける甲状腺サイズと短寿命放射性核種が測定値に及ぼす影響：シミュレーション研究 *北島 貴弘¹、小嶋 光明²、恵谷 玲央²、甲斐 優明¹ (1. 日本文理大学、2. 大分県立看護科学大学)[3105-08-04] 東京電力福島第一原子力発電所事故直後における避難指示対象区域外からの避難行動：福島県相馬市・南相馬市・いわき市を対象にしたアンケート調査から *山口 文恵¹、高原 香苗¹、鍵 康和²、多田 健太²、LEE SEUNGMIN²、米山 太賀²、福井 桃子²、関谷 直也² (1. 日本原子力研究開発機構、2. 東京大学)

0900-1030 線量評価 1

[3201-04-01] 粒子輸送計算コードPHITSを用いた水晶体及び肺組織の微視的な被ばく線量評価に対する予備的解析 *高久 侑己¹、佐々木 瑛麻¹、荻野 晴之¹ (1. 原子力規制庁)[3201-04-02] 簡易型WBCによる年齢別計算評価 *三村 健人¹、吉富 寛¹、谷村 嘉彦¹ (1. 日本国立原子力研究開発機構)[3201-04-03] X線CT画像を用いた日本人の吸入被ばく線量評価のための気管・気管支モデル構築の検討 *小西 美咲¹、酒井 優菜¹、三瓶 葵¹、田岡 愛弥¹、森田 竹史²、對馬 史泰²、掛端 伸也³、掛田 伸吾³、大森 康孝⁴、Kranrod Chutima⁴、細田 正洋^{1,4}、床次 眞司⁴ (1. 弘前大学大学院保健学研究科、2. 弘前大学医学部附属病院医療技術部、3. 弘前大学大学院医学研究科、4. 弘前大学被ばく医療総合研究所)[3201-04-04] 核燃料サイクル工学研究所における個人線量計の外部委託に向けた対応 *佐久間 修平¹、海野 基義¹、中川 貴博¹ (1. 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構)

招待講演 (12/18(木)13:30～ A会場)

培養細胞レベルでの低線量・低線量率放射線による遺伝子影響

Genetic effect of low dose or low dose rate radiation: An approach using cultured mammalian cells

田内 広 Hiroshi TAUCHI

現行のICRP勧告をはじめとする安全管理には、放射線による確率的影響のINT仮説がある。INT仮説は、安全管理上の合理性は担保できる一方で、低線量域において真に生物学的現象と合致するかに開いては、異なる説との整合性を含め、いまだに議論が決着していない。とりわけ放射線影響は、線量だけではなく線量率による側面から生物学的な現象を解明する必要がある。近年の生命科学の進展を活かした研究アプローチは、低線量・低線量率における新たな線量率による生物学的現象の本質の解明にはより、普遍的な生命現象の本質にはども必要である。将来の放射線防護はもどもより、遺伝子突然変異の誘発を軸として低線量率放射線被ばく影響の解説に取り組んできた。本講演では、線量率をキーワードに、放射線防護レベルの確率的影響について、以下2つの観点から研究の歴史を含めた概要をレビューし、放射線防護との関係で今後に解明されるべき生命科学課題についても整理しておきたい。

企画セッション (12/18(木)15:00～ A会場)

放射線関連量の課題に関する検討委員会

Committee on Issues Related to Dosimetric Quantities

本臨時委員会は、放射線関連量とそれらの課題を改めてレビューするとともに、将来の法令取入れまでの対応について提案されている新線量体系の整備に向けた課題を抽出するとともに、将来の法令取入れまでの対応に関する提言を行うことを目的としている。

2年目の今年度は以下の3つの項目について検討を進めてきた。以下、順次簡単に紹介する。

- ①放射線関連量の過去の経緯の再整理
- ②新線量体系に関する課題の整理及び国内外の動向の調査
- ③新線量体系適用までの具体的アクションのロードマップ要素の策定

特別企画セッション [公開] (協賛：原子力規制庁)
(12/18(木)16:30～ A会場)

「我が国における自然起源放射性物質の現状と今後の展望」～報告書『自然起源放射性物質に対する放射線防護の基本的考え方』を踏まえて

NORMの取扱いは、物質の特性や環境条件、関係主体の立場を踏まえ、個別事例ごとに検討することが重要である。今後は、天然資源や産業物を扱う事業者や自治体を対象に普及啓発および情報共有の強化を図り、行政・産業界・学術界が連携して、現場レベルでの合理的な管理体制の確立を目指す。

企画セッション (12/19(金)10:00～ A会場)

放射線防護標準化委員会活動報告～受動形個人線量計の空港保安検査対策ガイドラインの検討状況

The guideline for carrying passive individual dosimeters through airport security checks

日本保健物理学会 放射線防護標準化委員会は、空港の保安検査を対象として、受動形個人線量計の自施設からの持ち出しに關し、空港の保安検査対策の検討を行い、ガイドラインを作成している。ガイドラインの作成にあたっては、日本保健物理学会「受動形個人線量計の空港保安検査時の線量調査に関する検討委員会専門研究会」の活動報告書を参考にするとともに、専門研究会員の参画を得た。ガイドラインでは、線量管理者がその管理する受動形個人線量計の測定値の信頼性を確保するためには、放射線業務従事者が航空機を利用する際の受動形個人線量計等の準備・空港保安検査時の個人線量計の取扱い方法等について、それらを決定するための指針を示す予定である。なお、このガイドラインは、放射線業務従事者が各々の受動形個人線量計の自施設からの持ち出しに關して考慮するべき内容を知るために有効である。

企画セッション (12/19(金)11:00～ A会場)

Plenary Session for CKJ Collaboration Program

企画セッション (12/19(金)13:00～ A会場)
International Special Session “The LNT Model – Challenges and Future Perspectives”

The purpose of this study is to present an expanded and integrated overview of the Linear-No-Threshold (LNT) model as applied within the International Commission on Radiological Protection (ICRP) system, and to summarize recent evidence relevant to low-dose radiation risk estimation. This work aims to clarify the scientific, ethical, and practical foundations that sustain the continued use of the LNT model in radiological protection policy, while also examining its implications for national regulatory structures such as those implemented by the Korean Association for Radiation Protection (KARP). Methods involved a structured review of the 2025 ICRP memorandum, key epidemiological datasets, and contemporary literature addressing biological mechanisms at low doses, with focus on model consistency, population-level effects, and applicability to protection principles.

マルチチャネルアナライザ
APU7308-8k-DM25C

¥898,000(税抜)

入力	8CH	A101-DM25C
固定ディッドタイム	1 μs	8CH
ADCデザイン	最大 8 kch	

¥898,000(税抜)

スペクトロスコピアンプ

¥468,000(税抜)

入力	1CH	A1008-DM25C
波形整形	アクティブラフィルタ方式	

¥838,000(税抜)

サンプリング	500Msps
分解能	14bit



¥268,000(税抜)

入力	2CH	APG7300B-DM25C
動作モード	1CH	

¥268,000(税抜)

固定ディッドタイム	1 μs	APG7302B-DM25C
ADCゲイン	最大 16k ch	4CH

2 μs

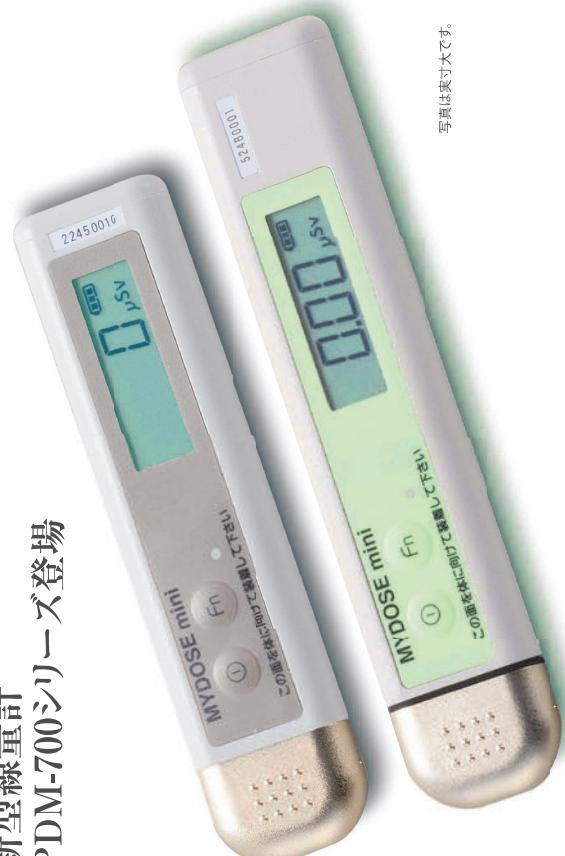
予稿集はこちらから
たバードが必要です

[https://pub.confit.atlas.jp/ja/event/jhps2025/cont
ent/abstract](https://pub.confit.atlas.jp/ja/event/jhps2025/content/abstract)

ヒストグラム、リスト、MCS、
コインシデンス

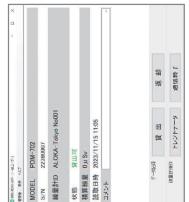


新型線量計 PDM-700シリーズ登場



PDM-700シリーズ 半導体式電子ポケット線量計 マイドーズミニ

- 半導体検出器を使用したペンシル型のスリムな電子式線量計
- ノイズ対策(電磁場や振動衝撃への耐性強化)を実施、測定値の信頼性が大幅に向上
- 液晶表示を大きくして視認性が向上
- データ保存機能搭載(最大1000件)
- Y線用、中性子線用、X線用のラインナップ
- Bluetooth通信用アプリ(オプション)



アロカ株式会社

〒180-0006 東京都武藏野市中町1-20-8 大樹生命三鷹ビル2F Tel:0422-38-9972

www.aloka.co.jp

12月18日（木）
A会場 1330-1500 【招待講演】
[1101-01-01] 培養細胞レベルでの低線量・低線量率放射線による遺伝子影響 *田内 広一 (1.
茨城大学)

A会場 1500-1630 【放射線閑連量の課題に関する臨時委員会報告】
[1102-05-01] 委員会の概要 *小田 啓二 (1. 電子科学研究所)
[1102-05-02] 線量の変遷 *吉澤 道夫 (1. (公財) 放射線計測協会)
[1102-05-03] 課題整理・動向 *小口 靖弘 (1. 株式会社千代田テクノル)
[1102-05-04] ロードマップ案 *高木 復治 (1. 三菱総合研究所)

A会場 1630-1800 【新報告書「自然起源放射性物質に対する放射線防護の基本的考え方」について】
[1106-09-01] 報告書策定にあたって~策定の経緯、工夫と今後の課題 *永松 聰一郎 (1. 原子
力規制庁)
[1106-09-02] NORMに関する国内研究と今後の展望 *米原 英典 (1. 原子力安全研究協会)
[1106-09-03] ラドン防護の現状と課題 *床次 真司 (1. 弘前大学)
[1106-09-04] 保健物理学の専門機関としての役割 *杉浦 純之 (1. 株式会社千代田テクノル)パ
ネルディスカッション 座長：甲斐倫明

12月19日（金）
A会場 1000-1100 【放射線防護標準化委員会活動報告～受動形個人線量計の空港保安検査対策方
イドラインの検討状況】
[2101-04-01] 放射線防護標準化委員会活動概要 *橋本 周 (1. 日本原子力研究開発機構)
[2101-04-02] ガイドライン本文 *関口 寛 (1. 長瀬ランダウア)
[2101-04-03] 解説 *伊知地 猛 (1. (一財) 電力中央研究所)
[2101-04-04] 例題 *森崎 和生子 (1. 千代田テクノル)

A会場 1100-1200 【Plenary Session for CKJ Collaboration Program】
[2105-07-01] CSRP Overview and Recent Activities *Liyue Liu¹ (1. CSRP/CIRP)
[2105-07-02] Current Status and Issues of Korean Association for Radiation
Protection *Lee Hee-Seock¹ (1. President of Korean Association for Radiation Protection)
[2105-07-03] Overview and Current Status of JHPS *藤田 博臺灣 (1. 国立研究開発法人日本原子
力研究開発機構)

A会場 1300-1600 【International Special Session “The LNT Model – Challenges and
Future Perspectives”】
[2108-14-01] General Overview of the LNT Model from KARP: KARP:ICRP Perspectives and
Recent Epidemiological Findings *Min Baek¹ (1. POSTECH)
[2108-14-02] Biological Effects of low-dose Radiation : From Basic to Clinical
Studies *Ji-Young Kim¹ (1. RHI/KHNP)
[2108-14-03] A Critical Examination of the Social Side Effects of the LNT Model:
Legislative, Administrative, and Judicial Perspective *Eunki Han¹ (1. NEPC/SNU)
[2108-14-04] Association of low-dose ionizing radiation with cancers: Chinese
medical X-ray workers cohort study *Qiang Liu¹ (1. IRM-CAMS)
[2108-14-05] A Study On The Attribution Of Lung Cancer Among Miners Based On The
Excess Relative Risk Coefficient Of Radon-Induced Lung Cancer In Chinese
People *Yue Ren¹ (1. CIRP)
[2108-14-06] Occupational Doses among Radiation Workers in Japan *西田 一隆 (1. 日
本工芸・ユーニットエス)
[2108-14-07] LNT: what have we learned and where do we stand? *浜田 信行 (1. 電力中
央研究所)パネルディスカッション 座長：伴信彦

一般講演一覧

12月19日（金）

B会場 【口頭発表】

- 1500-1630 放射線計測 1
[1201-04-01] GM管式空間線量率連続測定装置 (EcoGamma) の環境モニタリングへの適用
*鈴木 敦雄、若松 雄二、今津 佳子¹、堤 正人²、一瀬 昌嗣¹ (1. 群馬県立県民健康科学大学、4. 東邦大学、工・医研、3. 群馬県立県民健康科学大学、4. 東邦大学、工・医研、3. 静岡県環境放射線監視センター)
[1201-04-02] 高時間分解能半導体ピクセル検出器を用いた放射線飛来方向推定手法の検討
*本田 文弥¹、辻 智也¹、坪田 陽一¹ (1. 原子力機構)
[1201-04-03] 配管内の α 汚染直接測定のための小型 α 線検出器の開発
*森下 祐樹¹、山田 勉²、中曾根 孝哉²、菅野 麻里奈³、桜山 賢吾⁴、佐々木 美雪¹、真田 幸尚¹、鳥居 建男^{5,6} (1. 日本原子力研究開発機構、2. 日本放熱線工ジニアリング株式会社、3. 株式会社ベスコ、4. 原子力エンジニアリング株式会社、5. 福井大学、6. 福島大学)
[1201-04-04] Evaluation of Environmental Radiation Variations in Name Town by Car-borne Survey Technique *PLUENJIT Theeranat¹、大森 康孝²、細田 正洋²、床次 真司² (1. 弘前大学大学院 保健学研究科 放射線科学・技術領域、2. 弘前大学被ばく線総合研究所)
1630-1800 放射線計測 2
[1205-08-01] X線用電子ポケット線量計の放射線特性向上 *沢辻 克樹¹、富澤 昌寛¹ (1. アロカ株式会社)
[1205-08-02] 電子ポケット線量計の耐電磁波性能および耐振動衝撃性能の向上 *富澤 昌寛
[1205-08-03] 眼の水晶体用線量計DOSIRISの低線量検出能力の検証 *上床 哲明¹、竹林 佐知子¹、狩野 好延¹、犬賀 裕司¹、篠崎 和生子¹ (1. (株) 千代田テクノル)
[1205-08-04] 疑似飛跡の誤検出低減に向けたDeep Learning機能による画像処理プログラムの開発 *織田 有樹¹、橋詰 拓弥¹、嶋野 祐貴¹、北澤 創¹ (1. 長瀬ランダウア株式会社)

C会場 【口頭発表】

- 1500-1630 現場の放射線管理 1
[1301-04-01] 「身体汚染時に用いる洗浄剤等の効果評価手法に関する検討」(1)文部調査に基づく除染方法の提案 *藤澤 真¹、生天 曜¹、塙谷 路¹、吉田 忠義² (1. 國立研究開発法人日本原子力研究開発機構 放射線管理部 線量計測課、2. 國立研究開発法人日本原子力研究開発機構 放射線管理部 放射線管理課第2課)
[1301-04-02] 身体汚染時に用いる洗浄剤等の効果検証方針に関する検討 (2) 洗浄剤等の効果検証方針標準化 *沼田 佑介¹、藤澤 真¹、生天 曜¹、塙谷 路¹、吉田 忠義¹ (1. 國立研究開発法人日本原子力研究開発機構 放射線管理部 放射線管理部 線量計測課)
[1301-04-03] 皮膚汚染時における皮膚等価線量の評価精度の向上を目的とした β 線用測定器の開発 *石井 達也¹、佐川 直貴¹、中川 貴博¹ (1. 國立研究開発法人日本原子力研究開発機構)
[1301-04-04] 水晶体用放射線防護具の開発 *平戸 未彩紀¹、佐川 直貴¹、高瀬 龍弥¹、山本 和也¹ (1. 國立研究開発法人日本原子力研究開発機構)
1500-1630 現場の放射線管理 2
[1305-08-01] 「空気汚染モニタリング用ろ紙への付着物が与える影響に関する検討」(1) 全体概要及びろ紙付着物に関する調査 *富岡 哲史¹、佐々木 一樹¹、嘉藤 達樹¹、平戸 未彩紀¹、山下 大智¹、今橋 伸史¹、吉田 忠義¹ (1. 國立研究開発法人日本原子力研究開発機構)
[1305-08-02] 「空気汚染モニタリング用ろ紙への付着物が与える影響に関する検討」(2) ホット試験による計算モデルの検証 *佐々木 一樹¹、富岡 哲史¹、嘉藤 達樹¹、平戸 未彩紀¹、山下 大智¹、今橋 伸史¹、吉田 忠義¹ (1. 國立研究開発法人日本原子力研究開発機構)
[1305-08-03] 「空気汚染モニタリング用ろ紙への付着物が与える影響に関する検討」(3) 計算シミュレーションによる付着物影響の評価 *嘉藤 達樹¹、佐々木 一樹¹、富岡 哲史¹、平戸 未彩紀¹、山下 大智¹、今橋 伸史¹、吉田 忠義¹ (1. 國立研究開発法人日本原子力研究開発機構)
[1305-08-04] サーベイメータへの二次電池の適用に関する検討 *内馬場 優太¹、吉田 忠義¹ (1. 國立研究開発法人日本原子力研究開発機構 放射線管理部 放射線管理第2課)

D会場 【ポスター発表】 1600-1800

[2401-50-36] iNIPAMゲル線量計を用いた低エネルギーX線照射に対する線量応答性の評価とハンドヘルド蛍光X線分析装置の誤用による被ばく事故の際の線量評価への応用 *近藤 嶽
[1,2]、川村 拓^{3,2}、柳澤 右京^{2,4}、松山 飼史^{5,2}、酒井 康弘^{4,2}、浅井 龍哉^{1,2}、吉井 裕¹ (1. 福井大学・工、2. QST・放医研、3. 群馬県立県民健康科学大学、4. 東邦大学、工・医研、3. 静岡県環境放射線監視センター)
[2401-50-37] 原子力科学研究所における環境放射線モニタリング業務 一福島第一原子力発電所事故後10年間の活動とモニタリングデーター *竹内 純里奈¹、川崎 将姫¹、大倉 純史¹、阿部 琢也¹ (1. 日本原子力研究開発機構)

[2401-50-38] 串光修飾法を用いたオリゴヌクレオチドの放射線損傷評価 *内海 太貴¹、松尾 陽一郎¹、清水 喜久雄²、泉 佳伸² (1. 福井大学附属国際原子力研究所)

[2401-50-39] LSC測定による環境試料中14C 簡易分析の最適化 *王利 俊哉¹ (1. 一般財團法人九外環境管理協会)

[2401-50-40] 小型 γ 線検出器による創傷汚染測定方法の開発 *高橋 映奈¹、佐久間 修平¹、藤澤 真¹、會澤 薫¹、細見 健二¹ (1. 日本原子力研究開発機構)

[2401-50-41] 内部被ばく線量評価のためのバイオアッセイにおける臭気対策の検討 *前原 勇志¹、國分 祐司¹、松尾 一樹¹、長谷川 京¹、野田 真優子¹、佐佐木 光¹、藤田 博喜¹ (1. 國立研究開発法人日本原子力研究開発機構)

[2401-50-42] 様々な携帯型放射線測定器の高エネルギー線に対する応答特性評価 *大石皓平¹、篠塚 友輝¹、吉富 寛¹、辻智也¹、山外 功太郎¹ (1. 日本原子力研究開発機構)

[2401-50-43] 放射線リスクコミュニケーションに対する評価項目と基準表を有する対話式ループリックの作成 *大谷 浩樹¹、坪内 唯夏² (1. 帝京大学 医療技術学部 診療放射線学科、2. 帝京大学学院 医療技術学研究科 診療放射線学専攻)

[2401-50-44] 広範用ふき取りによる汚染検査でのふき取り材の測定方法の検討 *本岡 和博¹ (1. 大阪大学理学研究科技術部)

[2401-50-45] Status of particulate matter exposure in Bangladesh and the preliminary association with airborne microbiological organisms *Nancy Asheda Anwar¹、Hossain Mahboob¹、Mouly Tonima Fairooz² (1. BRAC University, Bangladesh)

[2401-50-46] 鼻スミヤ測定の最適化に向けた検討 *石橋 奈敬¹、田村 健¹、黒江 彩萌¹、小林 賢二¹、中川 貴博¹ (1. 國立研究開発法人日本原子力研究開発機構)

[2401-50-47] 九州・中国地方における近年の環境トリチウム濃度 *山中 潤二¹、玉利 後哉¹、安次富 政貴¹、鶴本 めぐみ¹、森本 敬子¹、平瀬 紗和子¹、田籠 久也¹ (1. 一般財團法人九州環境管理協会)

[2401-50-48] 大洗原子力工学研究所ホットフロボ施設における気流解析結果と空気中放射性物質濃度のサンプリングにおける考察 *福井 誠¹、千頭和 慎吾²、菊地 紀宏¹、田中 正暁¹、橋本 周¹、吉野 敏明¹ (1. 日本原子力研究開発機構、2. 量子科学技術研究開発機構)

[2401-50-49] Tritium and stable hydrogen and oxygen isotopes in dams and reservoirs in Thailand *ビッタッチャヤイアンチヨンラダ¹、Kosinarkaranun Kanyanan¹、Kunsut Pantlawa¹、Hamasaki Tatsuhide¹、Harama Ryuta¹、Rittirong Anawat¹、Sakakibara Koichi¹、Hirano Yoshiyuki¹、Kashiwaya Koki¹、Ogata Yoshihime¹、Kato Yuka¹、Suprasert Wanwisa¹、Saenboonruang Kiatjisak¹、Kanokwan¹、Khutong Sontree¹、Toyen Donuee¹、Phattanasut Archara¹、Yongprawat Monthon¹、Saengkorakot Chakrit¹、Krisanangkura Piyawan¹ (1. Osaka Sangyo University)

[2401-50-50] Tritium and Inhalation dose assessment of lead-210, beryllium-7 and potassium-40 over Osaka, Japan *ゴーシンアンカラナン ガンヤナノン¹、Pitakchaisarn Chonlada¹、Kunsut Pantlawa¹、Hazama Ryuta¹、Hamasaki Tatsuhide¹、Rittirong Anawat²、Muranatsu Hisakazu³、Noiithong Pannipa⁴ (1. Osaka Sangyo University, 2. Osaka University, 3. Shinshu University, 4. Roi Et Provincial Office of Learning Encouragement, DOLE, Thailand)

[2401-50-51] 医療被ばく国民線量評価委員会医療被ばく国民線量評価委員会 *小野 孝二¹、藤淵 後王²、横山 須美³、赤羽 恵⁴、松原 孝祐⁵、川浦 雅代⁶、長谷川 隆幸⁷、済谷 琴史⁸、張 維珊⁹、勝沼 泰¹⁰、山本 和幸¹⁰、福永 正明¹¹ (1. 東京医療保健大学、2. 九州大学、3. 長崎大学、4. 量子科学技術研究開発機構、5. 金沢大学、6. 名古屋大学、7. 東海大学医学部附属東京病院、8. 大分県立看護科学大学、9. 東京都立大学、10. 東海大学医学部附属病院、11. 倉敷中央病院)

[2401-50-52] 優秀ポスター発表の投票はこちから <https://forms.gle/Z67qZnuqX58ZWqS57>



12月19日（金）

SEIKO EG&G

bertin
instruments
A BRAND OF BERTIN TECHNOLOGIES

野生型マウスの颈動脈と大動脈に生じる血管損傷：線量遷延の低減・増強効果
*浜田 信行¹、川野 樹一朗²、廣田 誠子²、Yusoff Farina Mohamad²、野村 崇治¹、斎藤 勇介²、中島 歩³、吉永 信治¹、東 幸仁² (1. 電力中央研究所、2. 広島大学、3. 山梨大学)

〔2401-50-02〕 連続放射線監視モニタの測定値に対する設置高さ・測定値単位・装置種別の影響解析 *佐藤 優¹、外間 智規²、三上 智¹、高橋 史明¹ (1. 日本原子力研究開発機構 (国研)、2. 住吉テストセンター（有）)

〔2401-50-03〕 放射線従事者中央登録センターにおけるデジタルアーカイブによる記録保存業務について *伊藤 公准¹、鈴木 規¹、佐藤 輝秀¹、上野 哲朗¹、山谷 勉²、川田 雪枝¹、菅井研自¹ (1. 公益財団法人 放射線影響研究会)

〔2401-50-04〕 HT0の体内不均一分布 *増田 毅¹、高井 大策¹、長島 明輝¹、柿内 秀樹¹、森脇 隆¹ (1. 環境科学技術研究所)

〔2401-50-05〕 核医学分野の医療スタッフが受けける線量の簡易的な評価手法の構築のための検討：計算によるヨウ素131内用療法患者の病室内線量分布の推定と実測値との比較 *横山 須美¹、Abylkassymov Akzhan¹、高比来 ひとみ²、武田 吉史¹、玉熊 佑紀¹、廖 謙飛¹、工藤 崇¹ (1. 長崎大学、2. 日本赤十字九州国際看護大学)

〔2401-50-06〕 エックス線装置における自動警報装置の意義と現状 *榎本 敦¹、中田 よしみ¹、神子 公男¹、片岡 憲昭²、貴戸 千津子¹、鳥井 順子¹、飯本 武志¹ (1. 東京大学、2. 東京都立産業技術研究センター)

〔2401-50-07〕 放射線を題材とした自由探究型教育の実践－測定器を用いた能動的研究活動を通じて－ *加藤 之愛留¹、脇田 奈々¹、太田 智子¹、田中 香津生^{2,3} (1. (公財)日本分析センター、2. 加速キッキン(台)、3. 早稲田大学理工学部院総合研究所)

〔2401-50-08〕 外部被ばくモニタリングの実用量：関連する国際動向及び原子力規制庁における安全研究 *佐々木 瑛麻¹、荻野 晴之¹、伊豆本 幸惠¹、森泉 純¹ (1. 原子力規制庁)

〔2401-50-09〕 LPWA通信技術の活用したモニタリングポスト間のデータ通信 *加藤 季晋¹、山根馨太¹、浅野 浩史¹、松島 純也¹、倉橋 雅宗¹、藤原 誠¹、田中 孝典¹ (1. 島根県原子力環境センター)

〔2401-50-10〕 空気動力学径の測定基盤技術としての安価で使い捨て可能なエアロソル分級器「μSPLIT」 *坪田 陽一¹、ラフォレ ユゴ¹、黒江 彩萌¹、狩野 貴宏¹ (1. 日本原子力研究開発機構)

〔2401-50-11〕 ICRP刊行物の翻訳事業報告－原子力規制庁「国内規制に係る国際放射線防護委員会刊行物の調査」事業 *平井 亜希^{1,2}、森 茉莉^{1,2}、賞雅 朝子^{1,2} (1. 日本工芸・ユース株式会社、2. ICRP刊行物翻訳委員会事務局)

〔2401-50-12〕 OSU積算線量測定システムの環境モニタリングへの導入に向けた検討 *成田 真人¹、藤本 正己¹、白本 龍一¹、網代 和広¹、石井 輿雄¹、赤坂 博美¹ (1. QST那珂河フュージョン科学技術研究所)

〔2401-50-13〕 安芸灘とびしま海道における島嶼の環境放射線（能） *杉野 雅人¹、城田 果穂²、田淵 俊丞³ (1. 群馬県立県民健康科学大学、2. 麻友整形外科病院、3. 国立がん研究センター東病院)

〔2401-50-14〕 電子スピinn共鳴法を用いた原子力災害に被災した牛の非破壊的な線量推計 *山口 一郎¹、寺田 宙¹、夏堀 雅宏²、三宅 実³、保田 哲志⁴、井上 一彦⁵ (1. 国立保健医療科学院、2. 北里大学、3. 香川大学、4. 広島大学、5. ルイ・バストウール医学研究所)

〔2401-50-15〕 トリプル四重極ICP-MSを用いた固相抽出法による葉菜中129I分析法の検討 *檜山 宝季¹、葛西 邦生²、安積 澄¹ (1. 青森県原子力センター、2. 青森県危機管理局原子力安全対策課)

〔2401-50-16〕 インドケララ州のバックグラウンドがんリスク計算と考察 *木村 建貴¹、佐々木道也¹ (1. 電力中央研究所)

〔2401-50-17〕 Natural Radioactivity at the Tin Shelter in Bangka Island, Indonesia *Rosjanna Iisal^{1,3}、Pradana Radha^{1,3}、Indrastomo Frederikus Dian³、Rachael Yoshi³、Wahyudi Wahyudi³、Fird Muhammad Mulyadin³、Muhammad Adi Gunawan³、Madyaningsarum Nunik³、Nugraha Eka Dianika³、Tazez Hi rofumi²、Tokonami Shinji²、Akata Naofumi² (1. Graduate School of Health Sciences, Hiroasaki University、2. Institute of Radiation Emergency Medicine, Hiroasaki University、3. Research Organization for Nuclear Energy (ORINI)、National Research and Innovation Agency (BRIN))

REAL TIME RADON MONITORING

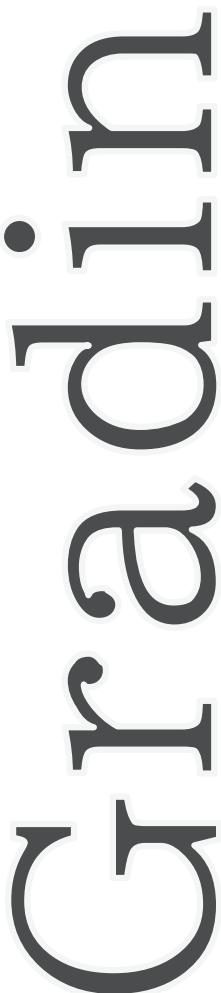
- High quality of measurement
- Reference device for calibration
- Polyalien air, water and soil gas analysis



RI利用者・施設管理者必見

30社 約450点の製品を掲載!!

放射線設備機器ガイド



サイトリニューアル予定
ご意見募集中 ⇒



☆便利な検索機能

「ジャンル別」「企業別」検索から、機器・設備・サービス等をスピーディーに検索!
製品ページから企業へダイレクトにお問合せ!

☆論文ページ

放射線設備機器やRI研究の論文・記事等を
ジャンルごとに掲載（無料閲覧・DL可能）

B会場

【口頭発表】

0900-1030 放射線教育 1

【2201-04-01】科学の基盤となる保健物理の役割と期待 一国際原子力科学オリンピック（INSO）を例に一 国際原子力機関が進めるアジア太平洋地域を中心とした人材育成の戦略 *版本 武志^{1,2} (1. 東京大学、2. 第2回国際原子力科学オリンピック (INSO) 日本チーム出場支援委員会)

【2201-04-02】科学の基盤となる保健物理分野の役割と期待 一国際原子力科学オリンピック（INSO）を例に一 日本原子力研究開発機構が国内外機関との協働で展開する人材育成の戦略 *生田 優子^{1,3}、飯本 武志^{2,3} (1. 日本国際原子力科学オリンピック (INSO) 日本チーム出場支援委員会)

【2201-04-03】科学の基盤となる保健物理分野の役割と期待 一国際原子力科学オリンピック（INSO）を例に一 INS02024（フィリピン大会）及びINS02025（マレーシア大会）の出題に見る保健物理分野の重要性 *五十嵐 悠¹、角山 雄^{2,4}、佐藤 大樹^{3,4}、飯本 武志^{1,4} (1. 東京大学、2. 京都大学、3. 日本国際原子力科学オリンピック (INSO) 日本チーム出場支援委員会)

【2201-04-04】科学の基盤となる保健物理分野の役割と期待 一国際原子力科学オリンピック（INSO）を例に一 INS02025（マレーシア大会）への日本代表選手団派遣にかかる保健物理学からのアプローチ *佐藤 大樹^{1,2} (1. 日本国際原子力研究開発機構、2. 第2回国際原子力科学オリンピック (INSO) 日本チーム出場支援委員会)

1030-1200 放射線教育 2

【2205-08-01】各国の若手研究者に対するアンケートから考える国際的な連携の可能性 *三輪 一爾¹、松本 真之介²、河野 美彦³、三枝 純美⁴、成田 真人⁵、富田 賢吾¹ (1. 名古屋大学、2. 東京都立大学、3. 原子力規制庁、4. A&Y Institute Co., Ltd.、5. QST)

【2205-08-02】シナリオ非提示型の放射線測定訓練のためのARアプリケーションの開発 *古場 哲介¹、藤瀬 大助^{1,2}、齊藤 勉季^{1,2}、平井 悠大^{1,2}、平賀 繁乃^{1,2}、真正 清光² (1. 量子科学技術研究開発機構、2. 東京都立大学)

【2205-08-03】放射性物質の処分における規制免除に係る人文・社会科学的観点からの考察にに関する専門研究会 中間報告 *齋藤 龍郎¹、保田 浩志²、鷺 弘道³、三輪 一爾⁴ (1. 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構、2. 広島大学、3. 日本検査株式会社、4. 名古屋大学)

【2205-08-04】「統計的有意でない」という表現は市民を騙す *永井 宏幸¹ (1. NPO市民科学研究室))

1300-1430 放射線計測 3

【2209-12-01】薄膜プローチシンチレータを用いた213Poのα線検出に関する検討 *添田 悠也¹、山田 崇裕^{1,2} (1. 近畿大学大学院 総合理工学研究科、2. 近畿大学原子力研究所)

【2209-12-02】低工ネルギー光子に対する6eV検出効率校正におけるガラス板による影響 *田 純希¹、添田 悠也¹、山田 崇裕^{1,2} (1. 近畿大学大学院 総合理工学研究科、2. 近畿大学原子力研究所)

【2209-12-03】定位立体角法を用いた医用の核種の放射能測定の最適化 *大家 聖也¹、寺澤 麗羅¹、山田 崇裕¹ (1. 近畿大学大学院 総合理工学研究科、2. 近畿大学原子力研究所)

【2209-12-04】複合α線ピーコクの分離解析に関する検討 *寺澤 麗羅¹、大家 聖也¹、山田 崇裕¹ (1. 近畿大学 総合理工学研究科、2. 近畿大学 原子力研究所)

1430-1520 放射線計測 4

【2213-14-01】弘前大学における放射性工アロゾル曝露システムの開発 *小島 康太¹、笹野 理²、酒井 優菜³、大森 康孝⁴、玉熊 伸紀⁵、Kranrod Chutma⁴、床次 真司⁴ (1. 弘前大学、2. 三菱電機 先端技術総合研究所、3. 弘前大学大学院 保健学研究科 放射線技術科学領域、4. 弘前大学 被ばく医療総合研究所、5. 長崎大学 放射線総合センター))

【2213-14-02】ラドン子孫核種工アロゾルを用いたアルファダストモニタの重的試験 *笹野 理^{1,2}、小島 康太²、酒井 優菜²、大森 康孝²、床次 真司²、林 真照¹、東 哲史¹、柳川 祐輔³ (1. 三菱電機 (株)、2. 弘前大学、3. 三菱電機プラントエンジニアリング (株))



0900-1030 環境放射能 1

[2301-04-01] 環境中トリチウム測定①-迅速測定法の開発とその測定結果- *遠藤
陸冬¹、清水 文香¹、猪狩 直哉¹、狩谷 陸斗²、佐々木 後²、石川 翠朗³、柿内 秀樹³、川上
智彦^{4,1}、鳥養 祐二¹ (1. 茨城大学理工学研究科、2. 茨城大学理学部、3. 公益財団法人 環境科学
技術研究所、4. 株式会社 化研)

[2301-04-02] 環境中トリチウム測定②-海生植物の水素同位体取込みと同位体効果
の検証 *清水 文香¹、遠藤 陸冬¹、小畠 結衣¹、猪狩 直哉¹、狩谷 陸斗²、柿内 秀樹³、石川 翠朗³、
川上 智彦⁴、鳥養 祐二¹ (1. 茨城大学大学院、2. 茨城大学理学部、3. 公益財団法人 環境科学技術
研究所、4. 株式会社 化研)

[2301-04-03] トリチウムをトレーサーに用いた福島県請戸川の平均滞留時間推定
*北山 結彩¹、桑田 遼¹、Khemarsi Khemutthai¹、福田 まさか¹、田中 和貴¹、山田 梶平¹、赤田 尚史¹
(1. 弘前大学)

[2301-04-04] 極低濃度有機結合型トリチウム分析手法を用いた海産物試料の分析
*桑田 遼¹、Khemarsi Khemutthai¹、北山 結彩¹、池田 愛実¹、山田 梶平³、Anderson Donovan³、天野
洋典⁵、鷹崎 和香⁴、赤田 尚史³ (1. 弘前大学保健学研究科、2. 弘前大学医学部保健学、3.
弘前大学被ばく医療総合研究所、4. 九州環境管理協会、5. 福島県水産海洋研究センター)

1030-1200 環境放射能 2

[2305-08-01] 日本の環境放射線モニタリングの信頼性・透明性を高めるために—
ALPS処理水の海洋放出後の海域モニタリング— *河野 根彦¹ (1. 原子力規制委員会 原
子力規制庁)

[2305-08-02] ディスク吸着素材への手動通液装置の開発 *吉井 裕^{1,2}、王 慧¹、柳澤
右京^{1,2}、松山 開史^{3,1}、酒井 康弘^{2,1} (1. 国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構、2. 東邦大学、3.
岐阜大学)

[2305-08-03] 工アロゾル非付着成分比によるラドン子孫核種吸入
被ばくの低減効果に関する実験的検証 *酒井 優菜¹、Kraund Chutima²、玉熊 佐紀³、大森
康孝²、細田 正洋^{1,2}、石川 鶴也²、床次 貢司²、眞弓¹ (1. 弘前大学大学院 保健学研究科 放射線技術科学領域、
2. 弘前大学被ばく医療総合センター、3. 長崎大学 放射線総合センター、4. 福島県立医科大学 医学部
放射線物理学講座)

[2305-08-04] 東アジア域における大気中Rn-222と壊変生成物の空間構造に関する検
討 *吉田 旭¹、平尾 茂一¹、佐藤 陽祐² (1. 福島大学、2. 大阪大学)

1300-1430 現場の放射線管理 3

[2309-12-01] C-4使用時の放射線管理の適正化及び合理化 *伊知地 盃¹ (1. (-財)
電力中央研究所)

[2309-12-02] 産業用X線C-T装置における被ばく事故を想定した線量測定 *片岡
憲昭¹、辻 智也²、古渡 意彦³ (1. 東京都立産業技術研究センター、2. 日本原子力研究開発機構、3. 量
子科学技術研究開発機構)

[2309-12-03] 放射線利用にCrew Resource Management (CRM) は必要か？有効か？
*鈴木 貴和¹ (1. 大阪大学)

[2309-12-04] 技能競技会の実施による放射線管理員の力量向上 *高島 駿介¹、宮越 俊
彦² (1. 東京電力ホールディングス株式会社 原子力運営管理部 放射線管理グループ、2. 東京電力
ホールディングス株式会社 柏崎刈羽原子力発電所 原子力安全センター 放射線安全管理
グループ)

1430-1600 防災・緊急時対応

[2313-16-01] 放射線健康リスク評価コードの開発 (3) 造血器腫瘍に対する放射線
リスク評価機能の開発 *鷲内 淳¹、鯨岡 郁雄¹、野口 芳宏²、真辺 健太郎¹、高原 省五¹ (1. 日
本原子力研究開発機構、2. (株) ベスコ)

[2313-16-02] 放射線健康リスク評価コードを用いた放射線健康リスク評価研究：慢
性被ばくに伴う固形がん死亡リスク評価の予備的解析 *高久 侑己¹、佐々木 瑛麻¹、伊
豆本 幸惠¹、森泉 純¹、萩野 晴之¹ (1. 原子力規制庁)

[2313-16-03] 緊急時対応に係る被ばく評価の分析手法整備 - 広範囲な事故シナリ
オに対する被ばくの特徴分析方法 - *小城 烈¹、和田山 規^{1,2} (1. 原子力規制庁、2. 東京
大学)

[2313-16-04] 避難退避時検査における工程別レーン数の組合せ最適化 *平岡 大和¹、
梅本 通孝² (1. JAEA、2. 筑波大学)

貴方の未来、自分で描ごう

- やりたいことに、なりたい自分が描けていますか？
- 自分で選ぶ力、選ばれる力を身につけよう！

技術士は、技術者にとって最も権威のある国家資格

技術士を取ろう!!

概要 VTR[「技術士とは」]
<https://youtu.be/60dq0n5T5xU>

日本技術士会：<https://www.engineer.or.jp/>

試験登録情報：<https://www.engineer.or.jp/su002/>

原子力・放射線部会：https://www.engineer.or.jp/c_dpt/nucrad/topics/010/010116.html



技術士が社会で生き生きと活躍する
原子力界全体の健全化と社会からの信頼回復に貢献する



- 個人の役割：技術士としての自覚
「専門家としての、「人」としての「技術士」の在るべき姿を一人ひとりが明確に自覚する
・『技術士』を知る (PEの特徴と期待、設立答申の期待、Competency)
・『自分』を知り、創る (自律的にデザインする) 経験研鑽
・『技術士』を語り、見せる (アウトカムは個人から!)」
- 部会の役割：職能集団としての役割
・目標と活動 2つの見える化 (活動をoutput ⇒ outcome ⇒)
・学び直しのための情報収集と企画、分担と支援
・戦略的情報発信
・連携の構築し、仕組み作り

- 具体的な活動の柱
・人材育成(社会貢献、学び直し)
・認知度向上(社会貢献・制度的活用の前提)
・連携(全ての技術士を覚醒させるために)
・社会とのコミュニケーション

原子力・放射線部会の目標と活動の全体像